

授業だより

No. 3

押水第一小学校

令和5年 6月23日

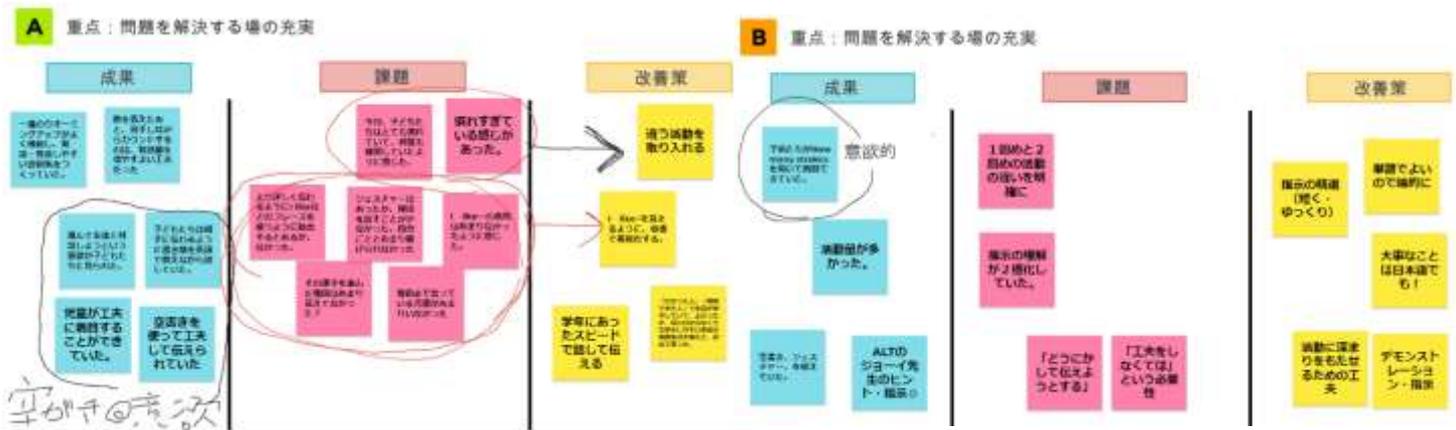
3年研究授業 外国語活動「Unit3 How many?」

『数えて遊ぼう』(授業者 大岡)

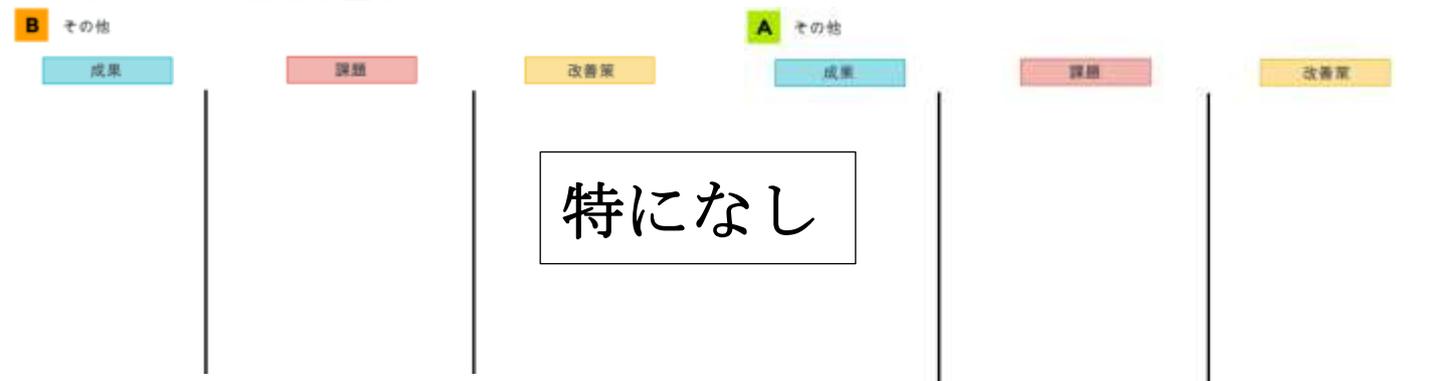
6月19日(月)に研究授業を行いました。授業後には、授業整理会、中能登教育事務所の山森指導主事からの指導助言がありました。

【授業整理会～各グループの話合いより～】

視点1: 友達と対話し、問題を解決するために、「短い文での指示(精選)をする」、「重要な(説明が難しい)場面では日本語で指示する」ことが大切である。



視点2: その他授業全般について



【指導助言～山森指導主事より～】

本時の展開、対話の仕方について

- ・1～10までの数字は、児童にとって言いやすい言葉だが、11以上の数字は児童にとって難しい言葉である。その数字を児童に学習させるために、反復練習を単にさせるのではなく、やり取りの中で児童が自ら話したい伝えたいという意欲が持てる活動を取り入れて、学ぶようにする。児童が活動の中で新しい言葉と出会い、繰り返し使うことで習得することが大事である。
- ・オールイングリッシュは望ましい姿ではあるが、児童にしてほしい活動が、デモンストレーションや対話活動で十分に伝わらない場合は、日本語で説明することも必要である。

単元デザインについて

- ・単元のゴールイメージを児童全員にもたせるために、何のために、この学習をしているのか指導者は意識しながら授業(英語での指示、言語活動)を組み立てていく。指導者が単元のゴールを意識することで児童も目的意識をもって授業に取り組むことができる。